

令和6年度第2回二宮町下水道運営審議会 次第
書面開催

開催日時:令和7年3月25日(月)

議 題

(1)二宮町下水道事業経営戦略策定について【報告】 資料①

内容: 詳細は資料参照

(2)その他

資 料

・資料① 二宮町下水道事業経営戦略策定に向けて

二宮町下水道事業経営戦略策定に向けて

二宮町 都市部 下水道課

令和7年3月25日

1. 経営戦略の策定と改定の趣旨

「経営戦略」とは、公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続するための中長期的な経営の基本計画です。

下水道は、町民生活や社会経済活動を支える重要なライフラインの一つです。二宮町の公共下水道事業は、生活環境の改善及び水洗化を目的に整備を行ってきました。

一方で、資産の老朽化に伴う更新時期の到来や、人口減少等に伴う使用料収入の減少に加え、異常気象の頻発など、公共下水道事業を取り巻く環境は厳しさを増しており、経営の健全化を基本とした安定的・効率的な下水道サービスの提供を基本方針として、経営戦略を令和2年度に策定しました。

その後、効率的な事業運営を実施するため令和5年4月1日に地方公営企業法を適用し、会計方法を官庁会計から公営企業会計に移行したことや、経営戦略策定マニュアルが見直されたことにより、令和7年度までに改定を行うこととしました。

経営戦略に関する基本的考え方は、以下のとおりです。

①今後の人口減少等を加味した使用料収入の反映

- 今後の人口減少等を加味した使用料収入や施設の老朽化を踏まえた所要の更新費用を反映して策定

②計画における設定期間は10年以上

- 事業の普及状況や施設の老朽化等を考慮し10年以上の合理的期間で設定
- 物価上昇等を反映した維持管理費、委託費、動力費等の上昇傾向等の反映

③期間内での収支均衡を図る

- 適正な公費負担を含む収入と更新費用など投資を含む支出の適正化を図る

④事後検証と更新

- PDCAサイクルが働くよう3年～5年ごとに見直しや更新を行う

2. 計画期間

本経営戦略の計画期間は、下水道施設等の耐用年数が長期に渡ることや、今後、施設の老朽化が進み、その管理に長期的な視点が必要であるため、10年間としています。

今回の改定では、**将来の投資財政計画、経費回収率向上に向けたロードマップ**を策定し、**将来の経営健全化に関する課題とそれに対する取組み**を設定し、実現するため、令和7年度から令和16年度までの10年間を新たな計画期間とします。

次ページの表は現時点では、暫定的な計画年次となります。

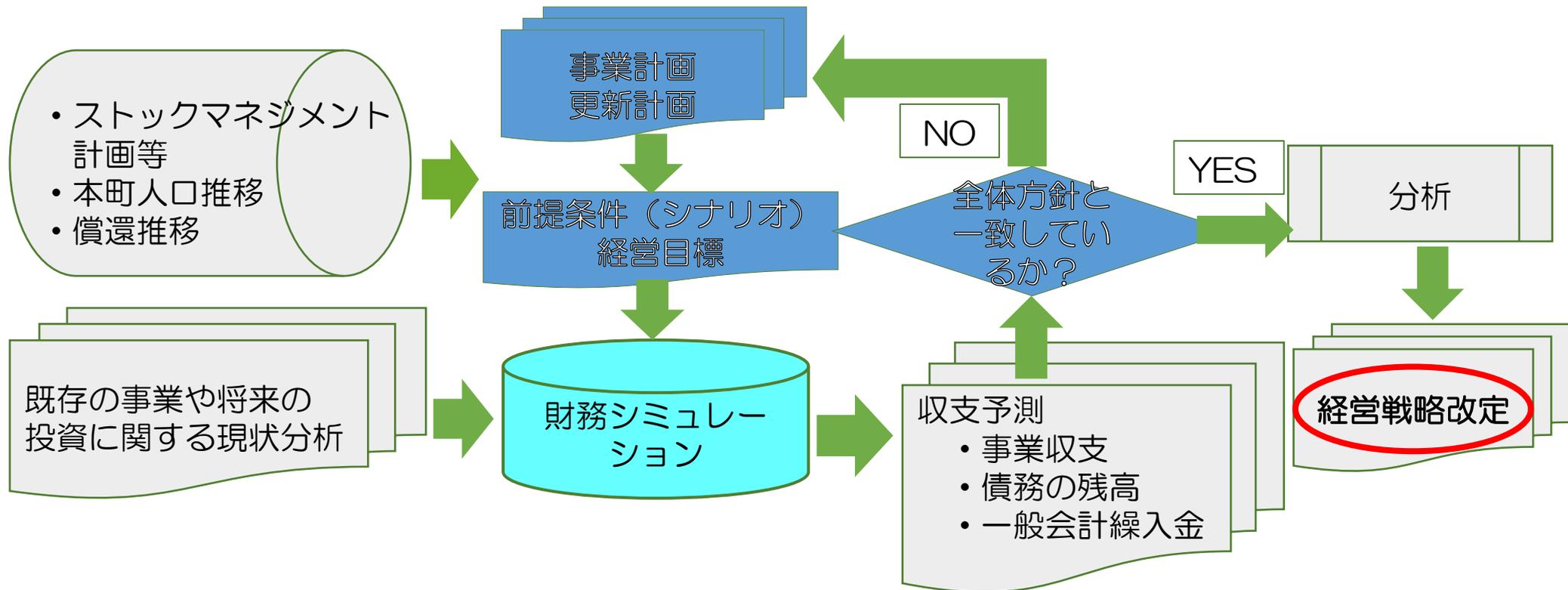
ロードマップ (案)

項目	具体的な内容	計画年次									
		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度
経営戦略改定の時期		経営戦略改定					経営戦略改定				
接続率・設置率の向上	接続率向上や広報啓発活動	→									
経費回収率の維持	収益：使用料の改定検討		使用料改定の 見直し検討	使用料改定の 見直し検討	効果検証	効果検証		使用料改定の 見直し検討	使用料改定の 見直し検討	効果検証	効果検証
	費用：効率的なコスト		使用料改定の 見直し検討	使用料改定の 見直し検討	効果検証	効果検証		使用料改定の 見直し検討	使用料改定の 見直し検討	効果検証	効果検証

3. 投資財政計画のプロセス

現状分析、事業環境、投資計画等に基づき、物価上昇等の前提条件を設定して、中長期的な財政計画や、下水道事業経営方針を作成していきます。

① 投資財政計画のプロセスフロー：人口減少、金利・物価高騰等の前提条件の影響を検証する。



② 条件設定と項目一覧

条件設定	項目	備考
事業環境	人口動態、有収水量、物価高騰	現状分析やその他分析の結果を反映
収入予測	使用料収入、雨水処理負担金、受益者負担金、その他	実績及び経営方針を反映
維持管理・ 運営費	処理費、ポンプ費、管渠費、その他業務費	実績により推定
事業計画	汚水・雨水処理費、改築・更新費、その他事業費	現状分析及び投資計画を反映
財源計画	下水道使用料、下水道事業債、一般会計繰入金、 国庫補助金、受益者負担金、その他	実績及び関連する方針を反映

4. 今後の流れ

経営戦略

【現状分析】

- 近隣自治体との経営指標を用いた比較分析を行います。
- 本町下水道事業単体での人口動態、使用料収入の推移を確認します。
- 過年度の決算状況、最新の決算状況を反映します。

【将来分析】

- 上記の現状分析を用いた上で、地方債償還金の増減、管渠の更新に関して建設事業費の推移を反映します。
- 委託費等も含めて物価高騰率、金利上昇リスクを反映した投資財政計画を作成します。
- 変化の激しい時代の為、計画期間は10年間のシミュレーションの検証を行います。
- 収支の均衡がとれなくなる（資金不足となる）ことが見込まれる場合、使用料改定の見直しを検討します。

下水道運営審議会

- **安定的かつ効率的な事業の運営**といった観点より経営戦略をご協議いただきます。

パブリック・コメントの実施